

令和6年2月17日

第73回レンガドック活用イベント 実施報告書

レンガドック活用イベント実行委員会

第73回レンガドック活用イベントは、2月17日(土)にレンガドック活用センターで、毎年恒例となっている住重OBと郷土史家が語る『浦賀ドックを語る講演会』を開催いたしました。

今回の講演会は、船に関する内容ではなく、住友重機械工業(株)川間工場で製造されていた本四連絡橋の一部や湘南大橋等の橋梁(きょうりょう)について、当時を知る川間工場のOBである池田茂氏から時代別の橋梁の説明と、その内容に対する山本詔一実行委員との質問・対談という形式で進み、予定していた時間はあっという間に過ぎてしまいました。

1. 目的

浦賀の街を支えていた造船所の歴史を地元の住民等に伝えることで、歴史を継承するきっかけとするとともに、親しみを持ってもらうことで、浦賀のまちづくり機運を高めるきっかけづくりに役立てる。

2. 概要

(1)実施場所

レンガドック活用センター

(2)日時、参加者

令和6年2月17日（土） 13:30～15:30 49名

(3)実施プログラム

講演会 『浦賀ドックを語る講演会』～住重OBと郷土史家が語る～

(4)スタッフ

- ・市民ボランティア「ドックと浦賀の歴史を愛する会」10名
- ・郷土史家 山本詔一氏（レンガドック活用イベント実行委員）
- ・レンガドック活用イベント実行委員会事務局：まちなみ景観課 遠藤盛久課長
古川

3. 実施プログラムの写真



レンガドック活用センター前看板設置



映像機器と講演位置の確認



講演参加者席 (70席準備)



講演会の様子

4. 1年を振り返って

第73回レンガドック活用イベントをもって、令和5年度のレンガドック活用イベントは終了となりました。レンガドック活用イベントは、『産業遺産として価値を持つ、浦賀レンガドックを活かしたまちづくりを行う』ことを目的に、平成17年度から開催されたイベントですが、令和5年度は特に、『浦賀地域に住んでいる方々』を一番のターゲットにイベントを開催し、咸臨丸フェスティバルや地元小学校と連携して行うなど、『産業遺産を知ってもらい、後世に繋いでいく』ことが一番大切だと実感しました。

令和6年度も、『産業遺産を知ってもらい、後世に繋いでいく』ことを意識しながらイベントを開催して参りますので、引き続きご指導の程、宜しくお願い致します。

レンガドック活用イベント実行委員会事務局 古川

以上